

令和4年度 京都市立西総合支援学校 後期学校評価結果

◆実施 令和 5年 1月13日（金）～20日（金）

◆方法 アンケートフォームか紙媒体で各項目について「実現度」を5段階で回答

◆回答率

	保護者（243）	児童生徒（243）	教職員（154）
回答数	153	74	150
回答率	63.0%	30.5%	97.4%

◆分析結果表示方法

I. 保護者の実現度「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合（％）を学部別に表示する。

- ・比較できるよう前期の実現度を表示する
- ・実現度の高いもの（90％超）には桃色，低いもの（60％台以下）には黄色を着色し，表示する
- ・前期より5％以上低下したものには水色を着色し表示する

II. 全保護者と教職員の回答を比較できるよう，グラフを並べて表示する。

III. 教職員の全評価項目の実現度を前期・後期で比較したグラフで表示する。

IV. 児童生徒の実現度をグラフで表示する。

I. について【保護者（小 64/84，中 46/71，高 43/88…回答数/配布数）】

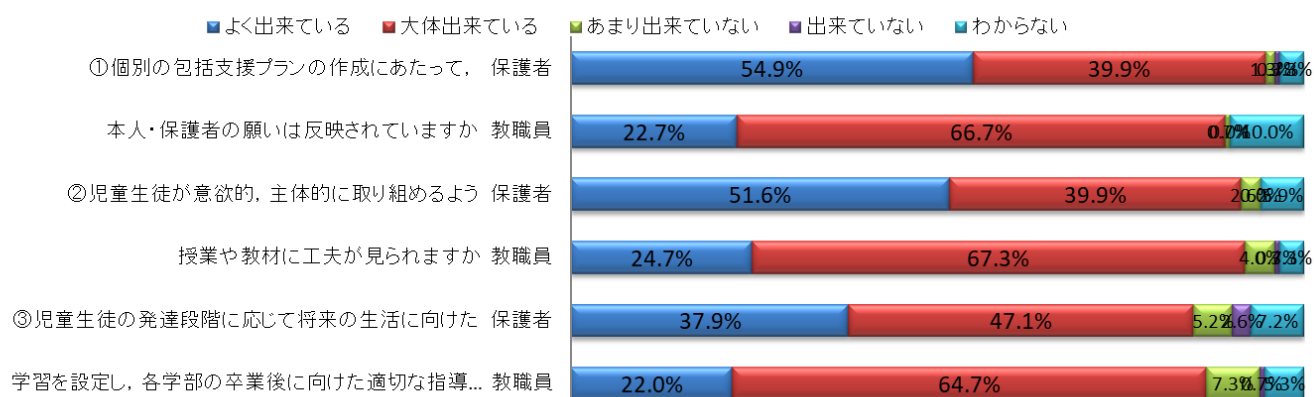
質問項目	小学部		中学部		高等部	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
①個別の包括支援プランの作成にあたって，本人・保護者の願いは反映されていますか	99.0%	100%	96.0%	95.7%	96.0%	86.0%
②児童生徒が意欲的，主体的に取り組めるよう授業や教材に工夫が見られますか	97.0%	100%	85.0%	87.0%	84.0%	83.7%
③児童生徒の発達段階に応じて将来の生活に向けた学習を設定し，各学部の卒業後に向けた適切な指導ができていますか	87.0%	93.8%	74.0%	80.4%	78.0%	76.7%
④児童生徒は自分なりの方法であいさつをしていますか	83.0%	90.6%	92.0%	89.1%	88.0%	86.0%
⑤教職員が児童生徒に接するときの言葉遣いや態度は適切ですか	95.0%	92.2%	88.0%	89.1%	90.0%	88.4%
⑥児童生徒は自分や友達を大切にしようとする気持ちを持って学校生活を送っていますか	83.0%	85.9%	76.0%	76.1%	85.0%	83.7%
⑦学校では健康維持や体力づくりに関する取り組みが十分に行われていますか	97.0%	96.9%	87.0%	84.8%	84.0%	88.4%
⑧発作・けが・病気等の緊急時に，保健室・看護師等と連携するなど，学校は組織的な対応をしていますか	95.0%	98.4%	85.0%	80.4%	90.0%	88.4%
⑨学校の施設・設備・備品・遊具等の安全は保たれ，衛生面にも配慮されていますか	90.0%	87.5%	73.0%	71.7%	75.0%	74.4%
⑩保護者は，子どもの教育について学校と連携，協力していますか	94.0%	96.9%	88.0%	91.3%	94.0%	83.7%
⑪学校は地域と連携した取組を行い，地域との交流を深める努力をしていますか	72.0%	84.4%	57.0%	63.0%	73.0%	74.4%
⑫学校の取組は，保護者・地域に情報発信されていますか	87.0%	84.4%	73.0%	76.1%	82.0%	79.1%

Ⅱ. について【保護者・教職員の比較】

(1) 「確かな学力」の育成に向けて

質問項目		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
①個別の包括支援プランの作成にあたって、本人・保護者の願いは反映されていますか	保護者	54.9%	39.9%	1.3%	0.7%	3.3%
	教職員	22.7%	66.7%	0.7%	0.0%	10.0%
②児童生徒が意欲的、主体的に取り組めるよう授業や教材に工夫が見られますか	保護者	51.6%	39.9%	2.6%	0.0%	5.9%
	教職員	24.7%	67.3%	4.0%	0.7%	3.3%
③児童生徒の発達段階に応じて将来の生活に向けた学習を設定し、各学部の卒業後に向けた適切な指導ができていますか	保護者	37.9%	47.1%	5.2%	2.6%	7.2%
	教職員	22.0%	64.7%	7.3%	0.7%	5.3%

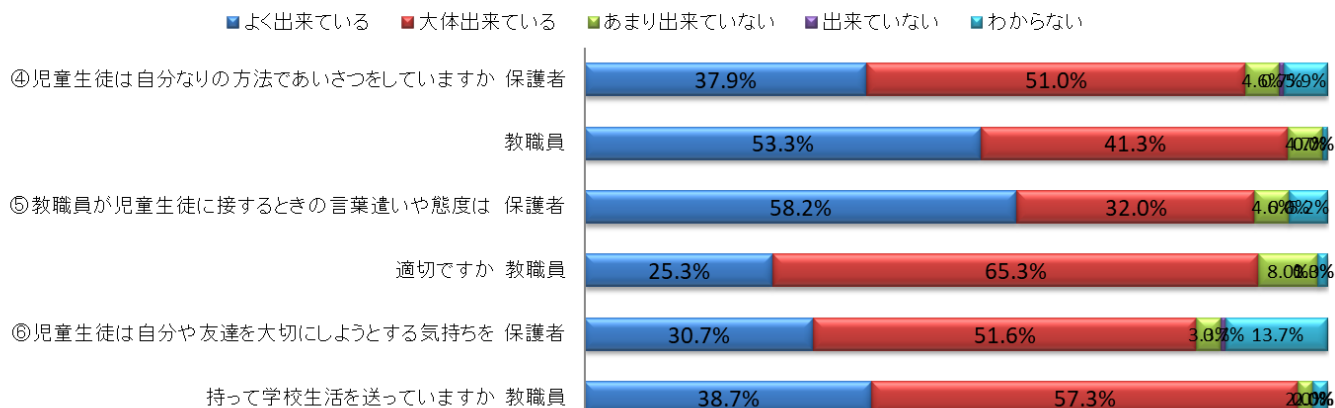
1. 「確かな学力」の育成に向けて



(2) 「豊かな心」の育成に向けて

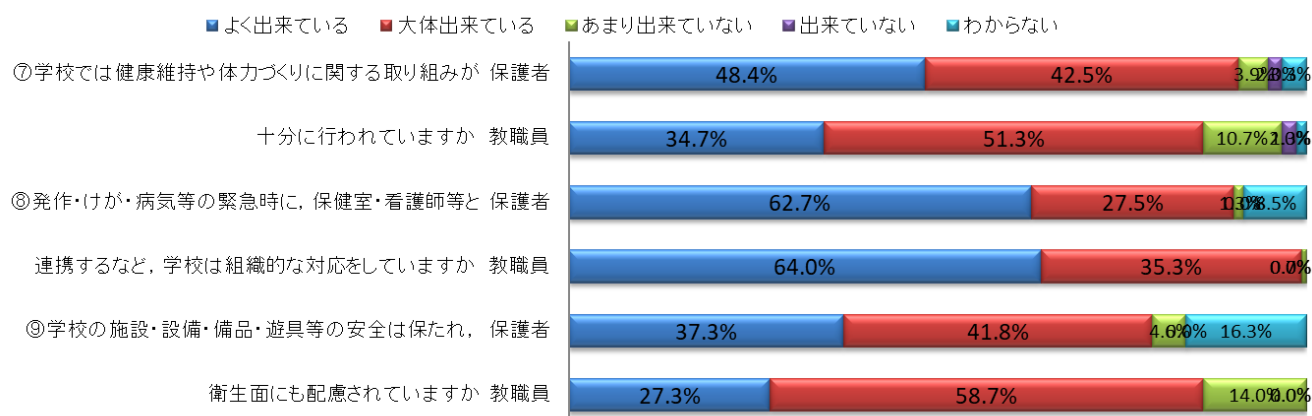
質問項目		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
④児童生徒は自分なりの方法であいさつをしていますか	保護者	37.9%	51.0%	4.6%	0.7%	5.9%
	教職員	53.3%	41.3%	4.7%	0.0%	0.7%
⑤教職員が児童生徒に接するときの言葉遣いや態度は適切ですか	保護者	58.2%	32.0%	4.6%	0.0%	5.2%
	教職員	25.3%	65.3%	8.0%	0.0%	1.3%
⑥児童生徒は自分や友達を大切にしようとする気持ちを持って学校生活を送っていますか	保護者	30.7%	51.6%	3.3%	0.7%	13.7%
	教職員	38.7%	57.3%	2.0%	0.0%	2.0%

2. 「豊かな心」の育成に向けて



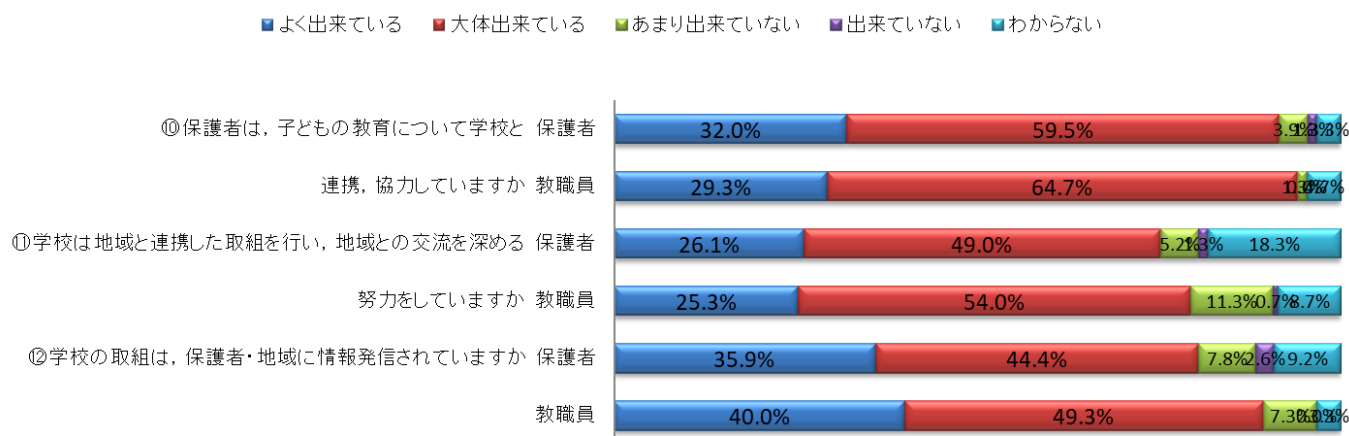
(3) 「健やかな体」の育成に向けて						
質問項目		よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	わからない
⑦学校では健康維持や体力づくりに関する取り組みが十分に行われていますか	保護者	48.4%	42.5%	3.9%	2.0%	3.3%
	教職員	34.7%	51.3%	10.7%	2.0%	1.3%
⑧発作・けが・病気等の緊急時に、保健室・看護師等と連携するなど、学校は組織的な対応をしていますか	保護者	62.7%	27.5%	1.3%	0.0%	8.5%
	教職員	64.0%	35.3%	0.7%	0.0%	0.0%
⑨学校の施設・設備・備品・遊具等の安全は保たれ、衛生面にも配慮されていますか	保護者	37.3%	41.8%	4.6%	0.0%	16.3%
	教職員	27.3%	58.7%	14.0%	0.0%	0.0%

3. 「健やかな体」の育成に向けて



(4) 家庭や地域との連携について						
質問項目		よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	わからない
⑩保護者は、子どもの教育について学校と連携，協力していますか	保護者	32.0%	59.5%	3.9%	1.3%	3.3%
	教職員	29.3%	64.7%	1.3%	0.0%	4.7%
⑪学校は地域と連携した取組を行い，地域との交流を深める努力をしていますか	保護者	26.1%	49.0%	5.2%	1.3%	18.3%
	教職員	25.3%	54.0%	11.3%	0.7%	8.7%
⑫学校の取組は，保護者・地域に情報発信されていますか	保護者	35.9%	44.4%	7.8%	2.6%	9.2%
	教職員	40.0%	49.3%	7.3%	0.0%	3.3%

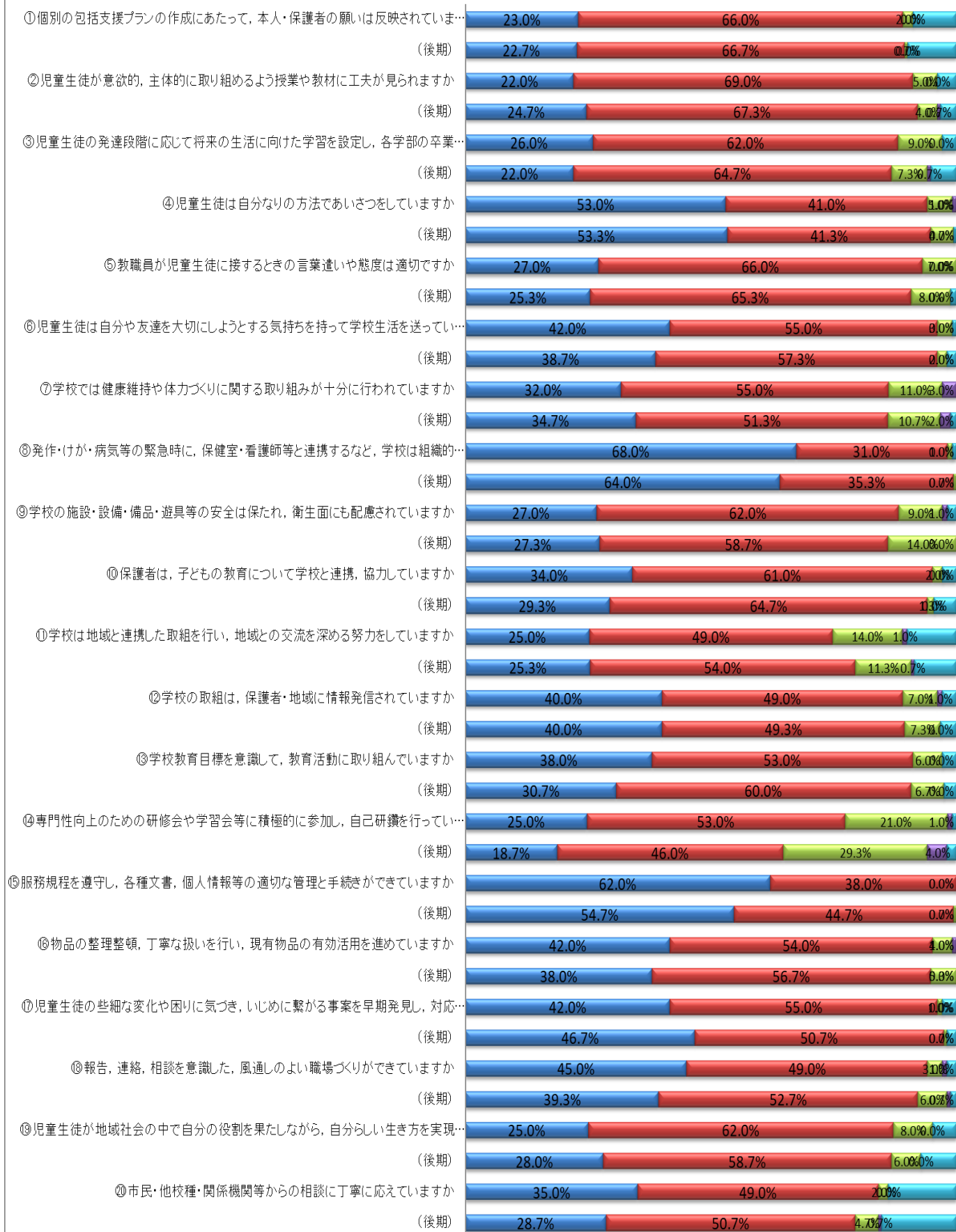
4. 家庭や地域との連携について



Ⅲ. について

教職員

■よく出来ている ■大体出来ている ■あまり出来ていない ■出来ていない ■わからない



IV. について【小 19, 中 36, 高 54…全 108/243 44.4%】

こどもアンケート						
質問項目		よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	わからない
①学校は楽しいですか	(前期)	75.0%	15.7%	4.6%	0.9%	3.7%
	(後期)	79.7%	17.6%	1.4%	0.0%	1.4%
②先生はわかりやすく教えてくれますか	(前期)	68.5%	15.7%	4.6%	1.9%	9.3%
	(後期)	79.7%	18.9%	1.4%	0.0%	0.0%
③自分から進んで勉強していますか	(前期)	57.4%	24.1%	10.2%	4.6%	3.7%
	(後期)	68.9%	18.9%	6.8%	2.7%	2.7%
④目標を持って生活していますか	(前期)	52.8%	25.0%	7.4%	1.9%	13.0%
	(後期)	52.7%	27.0%	8.1%	0.0%	12.2%
⑤自分からあいさつをしていますか	(前期)	57.4%	22.2%	13.9%	2.8%	3.7%
	(後期)	63.5%	24.3%	4.1%	4.1%	4.1%
⑥家でも学校でもきまりやルールを守って生活していますか	(前期)	52.8%	26.9%	10.2%	0.9%	9.3%
	(後期)	44.6%	36.5%	8.1%	4.1%	6.8%
⑦自分や友達を大切にしていますか	(前期)	70.4%	12.0%	5.6%	2.8%	9.3%
	(後期)	78.4%	16.2%	2.7%	0.0%	2.7%
⑧好き嫌いせずに何でも食べていますか	(前期)	55.6%	20.4%	10.2%	11.1%	2.8%
	(後期)	67.6%	17.6%	8.1%	5.4%	1.4%
⑨規則正しい生活はできていますか	(前期)	57.4%	18.5%	13.0%	3.7%	7.4%
	(後期)	70.3%	18.9%	6.8%	1.4%	2.7%
⑩校内や教室を掃除し、きれいにすることができていますか	(前期)	63.0%	23.1%	7.4%	2.8%	3.7%
	(後期)	67.6%	23.0%	6.8%	2.7%	0.0%

教職員は児童生徒一人一人の目標に沿って、「できる」ことを十分に把握し、様々な場面でできる状況づくりと手だてを講じ、子どもの周りに働きかける姿やかかわりを持とうとする姿を引き出す事ができてきました。また自ら進んで学ぶ力や意欲において、子どもの「できる」ことを活かした取組は定着し成果に繋がっていると感じます。しかし、障害特性や発達段階に応じた指導を展開するには、教員のさらなる指導の専門性の向上と連携が課題であると考えます。感染症予防や健康教育についても年間を通じて学習の中に位置づけ、今後より一層、教育環境づくり・授業づくり・学校全体の指導力の向上などの取り組みを進めていきます。

学校運営協議会の委員の方から、コロナという状況がなければ、地域の方ももっと学校にかかわり、西総合の子ども達を育む教育活動に協力していたことが予想され、残念だったとのことでした。しかし、今年度はワークの授業体験を通して、『できる交流』で子ども達と直接かかわり、西総合の教育に触れていただきました。これからも子ども達の「自ら伝えたい」「自分でやりたい」という思いを大切にした西総合の教育を地域として支えていきたい、という心強いご助言をいただきました。



こどもアンケート

